

東京都中央区日本橋浜町三丁目 21 番 1 号

株式会社建設技術研究所

代表取締役社長執行役員 西村達也

(コード番号 9621)

## 第 61 回定時株主総会 質疑応答概要

- ・第 61 期受注高実績は前期比 7%増である一方、第 62 期計画は前期比 7%減であり、その理由は国内における従業員の負荷軽減とのことである。  
日本の人口は減る一方なので、人口減とともに会社の業績も落ち込んでいくのではないかと心配している。将来の少子化に向けた企業戦略について伺いたい。(ご質問)

第 62 期(2024 年)の計画(減収減益)の背景として、従業員の負荷軽減を図り、会社として働き方改革に投資をしていきたいと考えている。

人員の確保は、当社のみならず建設コンサルタント業界にとっても重要な課題であると認識している。

当社の対応としては、インターンシップ制度の活用による新入社員の確保、シニア人材の活用、併せて、簡単ではないが DX による生産性向上に取り組んでいきたいと考えている。

- ・不適切な原価管理事案に関しては、65 名の原価付替への関与を確認したことについて、大変驚いている。業績への影響は軽微であったことは安心しているが、会社の倫理的側面では、深刻であるととらえていただきたい。  
今後このようなことのないよう、経営を進めていただきたい。(ご意見)

65 名の関与については、当社も重く受け止めており、倫理の面についても同様である。コンプライアンス強化、リスク管理の強化に引き続き対応し、経営をしていく。

以上